

中央図書館ブックハンティング (選書ツアー) 実施報告

—学生による選書の試み 2011/11/26—

鈴木 秀子^{*}
桑原 理恵[†]

1 はじめに

明治大学図書館では、研究用、学習用図書の選書を教員と図書館員で分担して行っているが、近年、「学生の視点での選書」を目的として、大学図書館の選書業務の一部を学生が行うという試みが、幾つかの大学図書館で行われるようになった。利用者を主として学生に限定できる大学図書館でのこのような企画は、利用者層の広い公共図書館と比べ、比較的実行しやすい企画だと思われる。

今回の中央図書館ブックハンティング企画は、初の試みということもあり、最初から大きな目的を掲げてスタートしたものではない。あえて挙げれば、「学生の視点での選書」、結果としての「学生の読書推進」、あるいは、「図書館へもっと足を運んでもらう」などの効果を考えながら、まずは他大学の事例調査や書店へのヒアリングからはじめた。また、和泉図書館が先行してブックハンティングの企画をたてていたため、参加者が重ならない

^{*}すずき・ひでこ／図書館総務事務室

[†]くわばら・りえ／中央図書館事務室

よう、かつ相互に個性が出るよう調整を心がけた。

2 ブックハンティング実施概要

■開催日 11月26日(土) 13:30
(集合) ~ 17:00

選書基準等について事前説明会を開催。その後書店へ移動。

■参加対象者：駿河台キャンパス所属の学部3、4年生、大学院生

募集10名に対して、参加者5名(学部生3名、院生2名)職員4名随行

■予算：一人10万円

■ブックハンティング会場書店：
丸善丸の内本店(丸の内オアゾ内)

**第1回中央図書館ブックハンティング
参加者募集中!**



あもってご参加
ください! 予算
は一人10万円

中央図書館では、11月26日(土)午後に実施するブックハンティング(選書ツアー)の参加者を募集しています。ブックハンティングは、図書館に入れたばかりの書籍の皆さんに読んでいただくという企画です。

選書場所：丸善丸の内本店・松丸半紙

※丸善半紙については20時開館は、Webサイトをご覧ください。

実施日時：11月26日(土)13:30~17:00
申し込み資格：駿河台キャンパス所属の学部3、4年生、大学院生
(計10名募集。応募多数の場合は抽選)

申し込み場所：中央図書館・ファレンスカウンター
応募締め切り：11月15日(火)17:00まで

問い合わせ先：中央図書館・ファレンスカウンター
TEL:03-3296-4293

参加者募集ポスター

3 選書方針

図書館では、どのような「選書方針」によって図書を購入するかは重要な点である。明治大学図書館では、全体の「収書方針」以外にも、中央、生田、和泉の各図書館が学習用図書の選書方針を定め、その選書基準ののって選書をしている。

「読書の推進」を目的としても、「読書」の対象図書が何でも良いというわけにはいかない。教育機関である大学図書館の選書目的は、教育、研究、学習のための資料を取書することである。

この前提をふまえて、中央図書館の既存の「学習用選書方針」に若干手を加え、選書範囲を広げたもの(後掲、資料1)をブックハンティングの学生選書の基本とすることとした。さらに、新書・文庫、コミック、雑誌は今回のブックハンティングの対象外とすること、また、図書館所蔵図書と

の重複図書も受け入れること（事後の重複調査によれば、今回選書された図書の約半数が図書館所蔵図書と重複）を追加し、事前説明会で参加者に説明した。

また、学生には、自分の関心分野（読みたいもの）を選ぶことに加え、このような本を利用者に読んでもらいたい、あるいは図書館に置いてもらいたい、という視点を導入して選書してもらうよう説明した。

4 ブックハンティング会場

ブックハンティング会場として選んだのは、丸善丸の内本店である。駿河台キャンパスからは JR 中央線 10 分ほどで着くことができる。

対象が3、4年生、院生ということもあり、専門書もそろっているような大型書店であること、また、選書した図書が速やかに納品され、受入・目録・装備を経てできるだけ早く利用者のもとに届くよう、通常から図書館との取引があることを前提に書店を選び、事前に書店と図書館目録担当部署との打合せも綿密に行った。

5 松丸本舗

今回、ブックハンティング会場としての書店に丸善丸の内本店を選んだのには、実はもう一つの大きな理由があった。丸善丸の内本店4階に設けられた書籍売り場「松丸本舗」があったからである。

「松丸本舗」は、書評のウェブサイトから始まった『松岡正剛 千夜千冊』の著者であり、イシス編集学校主催などで知られる編集者松岡正剛氏プロデュースにより丸善のショップ・イン・ショップとして2009年10月にオープンした。

丸善丸の内本店4階にしつらえた約65坪の売り場に、松岡氏の独自の編集方法によって関係づけられた5万冊の本が、さまざまな実験的な並び方、みせ方でぎっしりつまっていて、普通の書店とも図書館とも一線を画す図書の異空間である。

また、事前に申し込めば、「ブックショップエディター」の方が、30分、

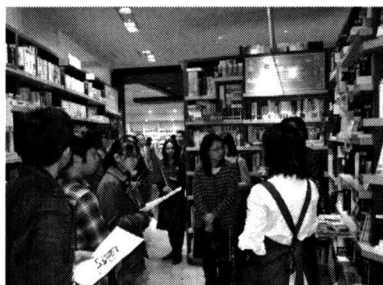
無料でツアーをやってくださるという。これをぜひ選書ツアーに組み合わせてみたい、と考えていた。本を見る目が、これによって刺激を受けたり、あるいは広がったりすることがあれば、という狙いである。その上、ここも「書店」であるから、この場で選書することも可能である。

「松丸本舗」ウェブサイトより抜粋

<http://www.matsumaru-hompo.jp/>

丸善が創業以来、140年にわたり考えてきた「知とは何か」「人と本のかかわり」というテーマに、松岡正剛の30年におよぶ編集的方法と読書世界が出会い、ここにひとつの実験空間が誕生しました …中略…

店には本との出会い、人との出会いを含めた「未知との出会い」がおこります。松丸本舗は本をつなぎ、知の連環の絆を結ぶ人々の顔が見えるように、本の力を信じて連ね、思いがけない本棚を構成します。まだ誰も見たことがない本棚です。



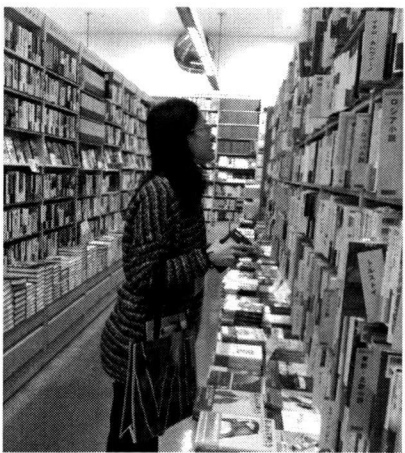
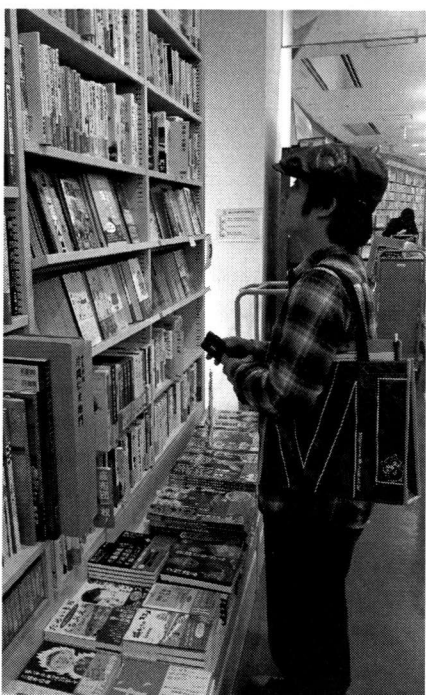
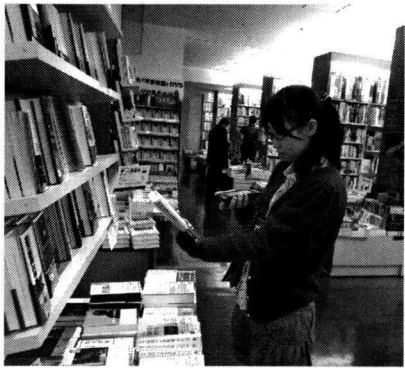
「松丸本舗」でブックショップエディターより説明を受ける参加者

6 実際の選書方法

参加者には小型のバーコードスキャナーを携帯してもらい、書店内を自由に移動して選書してもらった。書籍のバーコードを読み取っていくと、価格の合計が表示される。

さらに選書後は、このバーコードスキャナーに蓄積されたデータによって書店に本を発注することができる。

集合同所と時間を決めて各々が、一人総額10万円まで図書を選書することとした。



選書中の参加者たち

7 アンケート

選書後、同じ丸善本店の喫茶室で、参加者に感想などをききながら、アンケートを記入してもらった。以下、アンケートの集計である。

参加者所属		人数
法学部	3年生	1
文学部	3年生	2
文学研究科博士前期	1年生	1
文学研究科博士前期	2年生	1
合計		5

1. この企画をどこで知りましたか？

(1) 図書館内ポスター	3
(2) 他の場所のポスター	0
(3) 図書館ホームページ	0
(4) 先生から	0
(5) 友人知人から	0
(6) その他	2

(6) その他：コメント

- 職員の方から
- ポップ企画後の募集メール

2. ブックハンティングの場所は適当でしたか？

(1) 適当	5
(2) 適当ではない	0

(1) 適当：コメント

- ただ思ったより気になっていた分野の本が少なかったので紀伊國屋などでも選んでみたいです。

3. ブックハンティングの時期や時間帯は適当でしたか？

(1) 適当	5
(2) 適当ではない	0

4. 次回もまた参加してみたいと思いますか？

(1) 思う	5
(2) 思わない	0

5. ブックハンティングの感想やお気づきの点がありましたらお書きください。

■普段大学のそばの三省堂に行くことが多く、こちらの本屋に来たことがなかったので新鮮でよかったです。特に4階の松丸のコーナーは時間が足りないくらいでした。

次回も是非参加したいです！

今後は、本屋を複数にして、選書対決のような感じにしたら面白いかもしれません。例えば、三省堂 VS 丸善のような感じにすると、ブックハンティングコーナーも盛り上がるのではないのでしょうか。

■本を選ぶ作業がここまで大変なものとは思っていませんでした。どのような本を選べば学生のためになるのか悩みながら選ばせて頂きました。意外と時間が少なかったので、3時間くらい選書時間が欲しかったです。自身が欲しかった分野の本が少なかったのが残念でした。松丸本舗の棚作りには驚くばかりで大変楽しめました。ここだけでも1～2時間、時間がつぶせそうです！学生の皆さんにも是非足を運んで欲しい場所だと思いました。

■自分で買うのではなく「大学の蔵書」という観点で選ぶのが難しいと感じました。他の学生が何に興味があるのかということを考えながら選んだので、普段自分が買い求める本とは違う本と出会うことができました。自身の興味の幅も広がったと思います。選書の時間が短かったので、タイトルや表紙のインパクトで選んでしまいました。もう少し時間があれば、内容にも一通り目を通してしっかり選べたかと思います。

■ブックハンティングという経験をこうしてさせて頂くことが初めてで、どんな本を選ぶべきかという戸惑いが最初はありましたが、次第に自分

の中でこんな本が読みたいという考えが固まってきて、気づいたら時間を忘れて選書を楽しんでいました。

「自分で買う」のではなく、「自分で選ぶ」という行為は、いつもとは違った緊張感を与えてくれ、普段本屋に行く時とは意識が異なっているようにも感じました。

今後、本屋で本を見る眼が変わったように思います。

- なかなか高くて手が出せなかった本を選ぶことができたので、とても満足しました。

扱っていらっしゃる本の数が多くて目移りしてしまうのは嬉しい悩みでした。

松丸本舗の方のお話や企画はかなり興味深かったです。エディターさんに企画用の選書のお話を聞くことができたのですが、とても楽しそうに話してくださったのが、とても印象的でした。

6. 図書館への要望等がありましたらお書きください。

- 蔵書が多くて満足です！

- 図書館における色々な募集事項をもっと大々的に知らせて頂きたいです。大学院などではあまり知る機会が少ないのでよろしくお願い致します。

- 図書館関連の行事に参加して、図書館がより身近なものになりました。今後も参加していきたいです。古い本が生田に置かれてしまうことが多いので、古い本・あまり使用されていない本でも駿河台に置きつづけて頂きたいです。B3Fにある「マイクロ」リール機のスペースに職員さんがいて下さると助かります。

- 本の分類が微妙な本を探すのが大変なので、わかりやすい展示方法をしていただきたい。

- パソコンが常に満席なので台数を増やしていただきたい。

- 休館日（メンテナンス？）を学校のある日ではなく、休日にしていただきたい。

- 日頃から中央図書館には良くお世話になっています。

要望等は特にありませんが、今後ともこうした企画をして頂きたいと思

います。

■理系・文系の括りなく、リベラルアーツな選書をしていただけると、もっと面白い図書館になると思います。今回の本が図書館に入るのがとても楽しみです。本日はありがとうございました。

アンケートの感想以外にも、選書直後の参加者に、どのようなテーマの本を選んだかという話をしてもらった。皆、書店を歩きながら、どのような主題で図書を選んでいったかの思考の道筋を熱っぽく語ってくれた。

例えば、A 君は、SF 文学史から自然科学へ展開し、ロボット工学、地質学など、さら天文学から星座に関わる神話、ケルト神話へと連想的にさまざまな分野から選書したという。また B さんは一つのジャンルにまともならないよう、なるべく幅広い分野から選書をするようにした、D さんは自分の趣味の本選びではなく、アカデミックな視点で選書した、自分の専攻と被らない分野の本を選ぶようにした、等々。

以下は、その時、皆が話してくれた主題の一部である。すべてを書き留めることはできなかったが、これだけでも、各々が高い意識と目的を持って選書に臨んだことがわかる。

- A さん 自然科学、天文学、ロボティクス、地質学、神話、ケルト、ローマ史関係、等々
- B さん 電子、著作権、デザイン、広告、数学、等々
- C さん 演劇、語学、東洋文学、洋書を数冊（高額なので）、民俗学、文化史、文学、等々
- D さん 知的財産法、労働法、ジェンダー、原発、経済、EU、アジア経済、農業、数学、等々

その他、下記のような感想があった。

- ・選書しながら書店めぐりをするという体験が、非常に新鮮で楽しかった。
- ・「松丸本舗」がとても楽しかった
- ・時間が足りない（3 時間ぐらいほしい）（複数名）
- ・[逆に、] 短い時間で選書するのは緊張感があっていい（1 名）（今回は実

質約2時間弱)

- ・普段書店にいても、自分の興味分野のところにしか行かないので、書店全体を歩くという経験が面白かった。
- ・必要な本はアマゾンなどで購入することが多く、書店自体に行くことがあまりなかった。

ブックハンティングの効用に「図書館にもっと足を運んでもらう」を挙げたが、実際には、「書店に足を運ぶ」「じっくり書店と向き合う」という効果もあったようだ。

章末に「選書リスト」(資料2)を添付したので最終結果はこちらを参照していただきたい。

8 おわりに

選書した図書は、OPAC検索と貸出しができるよう目録装備された後、一ヶ月以内に順次中央図書館ゲート前に置かれた。立ち止まって手に取ったり、その場で借りていく利用者もいる。

初の試みであった中央図書館ブックハンティングは、一応の成功をみたといえそうだ。参加学生数は少ないが、アンケートを読むと、一人ひとりの経験としてはとても深いものがあったのではないと思われる。今回の経験を活かして次年度もぜひ企画してみたいと思う。



中央図書館入口に置かれたブックハンティング選定本

最後になりますが、事前の打合せから、当日の参加者への案内や場所の提供、その後の納品にいたるまで、丸善株式会社の首都圏大学第一営業部部長の岩田康明氏、営業担当課長の瀬戸口嘉史氏には、大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

2011 年 11 月 21 日
明治大学中央図書館

明治大学中央図書館ブックハンティング選書基準

大学は、教育・研究を目的とした機関であり、大学図書館はその目的に資するために資料の収集・提供を行う役割を担っている。

そのため、大学図書館の資料選定にあたっては、大学の教育・研究理念に則った方針を立て、それに基づいて資料の収集・構築をしなければならない。

ブックハンティングにおいては、下記の事項に留意し選書を行うこととする。

1. 選書の基準

下記の項目に該当する資料を積極的に購入することとする。

- (1) 駿河台キャンパスに学ぶ学生・大学院生の授業・研究および資質の向上に有益な資料
 - ① 専門分野の研究に必要な資料
 - ② 古典として評価される資料
 - ③ 一般教養の向上に資する資料
- (2) 大学に関する資料
- (3) 図書館に関する資料
- (4) 読書、書物に関する資料
- (5) 直木賞、芥川賞などの文学賞受賞作品および社会的評価を得たもの。ただし、小説は選書者一人につき 3 点までとする。

2. 選書に配慮を必要とするもの

下記の項目に該当する資料については慎重に判断することとする。

- (1) 雑誌、新書、文庫、旅行ガイド、コミックス、視聴覚資料は選書の対象外とする
- (2) 高度に専門的なもので利用が限定されるもの
- (3) 医学、音楽（楽譜）など極端に特殊な分野に細分化され利用が限定されるもの
- (4) 政党、宗教、企業などの主義・主張が強く、宣伝的目的・色彩が濃厚なもの
- (5) ドリルなど書き込みを前提とした私的利用に供するもの
- (6) 極端に趣味的・好笑的・娯楽的なもの
- (7) 高額または大型のコレクション、および刊行が長期にわたるもの
- (8) 資料としてよりも美術的・文化財的色彩が強いもの
- (9) CD、DVD、CD-ROM などのデジタル・メディア資料
- (10) 大学図書館の蔵書としてふさわしくないその他のもの

3. 選書の留意事項

- (1) 個人利用を目的とするものではなく、図書館利用者全体の利用・利益に資することを目的とすること
- (2) 公正・中立な立場で臨むこと
- (3) 将来にわたって有益な価値あるものを選ぶこと

以上

資料 2

第1回中央図書館ブックハンティング選定本

No.	ISBN	著者	書名	出版社	出版年
1	978-4-492-76198-4	野村総合研究所／前原 孝章 ／川元 麻衣子／石田 樹生	2015年の電子書籍～現状と未来を読む～	東洋経済新報社	2011.3
2	978-4-255-00388-7	アルベール・ロビダ／朝比奈弘治	20世紀	朝日出版社	2007.5
3	978-1-4051-8821-0	Hodgdon, Barbara／ Worthen, W. B.	A Companion to Shakespeare and Performance	Wiley-Blackwell	2008.1
4	978-0-19-957419-3	Kennedy, Dennis	The Oxford Companion to Theatre and Performance	Oxford University Press	2010.8
5	978-0-19-928724-6	Dutton, Richard	The Oxford Handbook of Early Modern Theatre (Oxford Handbooks of Literature)	Oxford University Press	2009.5
6	978-4-8459-0701-4	高尾 隆	インプロ教育、即興演劇は創造性を育てるか?	フィルムアート社	2006.12
7	978-4-02-330898-5	クラフト・エヴィング商会	おかしな本棚	朝日新聞出版	2011.4
8	978-4-254-16043-7	Ailsa Allaby／Michael Allaby／坂 幸恭	オックスフォード地球科学辞典	朝倉書店	2004.5
9	978-4-254-15017-9	Ian Ridpath／岡村 定矩	オックスフォード天文学辞典	朝倉書店	2003.11
10	978-4-8460-0965-6	成井 豊／隈部 雅則	きみがいた時間 ぼくのいく時間 (Caramel Library)	論創社	2010.11
11	978-4-7664-1671-8	ピーター・シリングスバーク／ 明星 聖子／大久保 謙／神崎 正英	グーテンベルクからグーグルへ～文学テキストのデジタル化と編集文献学～	慶応義塾大学出版会	2009.9
12	978-4-87290-506-9	古今亭 菊之丞	こういう見～噺家ほど素敵で不安な商売はない?～	WAVE出版	2010.11
13	978-4-88309-415-8	パトリシア・S.ウォリック／斉藤健一	サイバネティックSFの誕生～ギリシャ神話から人工知能まで～	ジャストシステム	1995.12
14	978-4-88282-773-3	乙須 敏紀	シンボル型なる秘儀～民族・宗教・古代祭祀・神話・聖書～	産調出版	2011.2
15	978-4-15-208550-4	ガブリエル・ウォーカー／川上紳一／渡会 圭子	スノーボール・アース～生命大進化をもたらした地球凍結～	早川書房	2004.2
16	978-4-12-004307-9	P.ルークター／J.パレーサン／小林 力	スパイス、爆薬、医薬品～世界史を変えた17の化学物質～	中央公論新社	2011.11
17	978-4-15-209189-5	クリス・インビー／小野木 明恵	すべてはどのように終わるのか～あなたの死から宇宙の最後まで～	早川書房	2011.1
18	978-4-7684-6892-0	黒田 竜之助	その他の外国語～役に立たない語学のはなし～	現代書館	2005.3
19	978-4-10-329421-4	石黒 浩	どうすれば「人」を創れるか～アンドロイドになった私～	新潮社	2011.4
20	978-4-89257-043-8	坂野 徳隆	バリ、夢の景色～ヴァルター・シュビース伝～	文遊社	2004.12
21	978-4-7503-2380-0	宗像 佳代	プレイバックシアター入門～脚本のない即興劇～	明石書店	2006.8
22	978-4-560-08055-9	デイヴィッド・ロッジ／高儀 進	ベイツ教授の受難	白水社	2010.4
23	978-4-915730-56-6	飯島 周／小原 雅俊	ポケットのなかの東欧文学～ルネッサンスから現代まで～	成文社	2006.11
24	978-4-8460-0400-2	エミール・ゾラ／伊藤 桂子	ボヌール・デ・ダム百貨店	論創社	2002.11
25	978-4-562-03715-5	シャーロット・グスト／井辻 朱美	マビノギオン～ケルト神話物語～	原書房	2003.12
26	978-4-88335-207-4	仲畑 貴志	みんなに好かれようとして、みんなに嫌われる。～勝つ広告のぜんぶ～	宣伝会議	2008.12
27	978-4-562-04041-4	フェルナン・コント／蔵持 不三也	フランス世界の神々・神話百科～ヴィジュアル版～	原書房	2006.12
28	978-4-7684-5647-7	黒田 龍之助	ロシア語の余白	現代書館	2010.12
29	978-4-7791-1369-7	三遊亭 円丈	ろんだいえん～21世紀落語論～	彩流社	2009.6
30	978-4-86064-276-1	山賀 進	一冊で読む 地球の歴史としくみ	ベレ出版	2010.12
31	978-4-7783-1155-1	立川 志らく	雨～中の、らくだ	太田出版	2009.2
32	978-4-7872-7310-9	かめおか ゆみこ	演劇やろうよ! (指導者篇)	青弓社	2011.9
33	978-4-336-05105-9	クリスティアン・ピエ／クリストフ・トリオー／佐伯 隆幸	演劇学の教科書	国書刊行会	2009.3

No.	ISBN	著 者	書 名	出版社	出版年月
34	978-4-7989-0047-6	広瀬 敏子	演劇教育の理論と実践の研究～自由ヴァルドルフ学校の演劇教育～	東信堂	2011.2
35	978-4-8205-4297-1	岡 潔	岡潔～日本の心～(人間の記録)	日本図書センター	1997.12
36	978-4-544-02071-7	岡本 太郎/岡本 敏子	岡本太郎歓喜 (Art & words)	二玄社	1997.9
37	978-4-7562-4152-8		何度も読みたい広告コピー	バイインターナショナル	2011.11
38	978-4-86248-840-4	高澤 等	家紋歳時記	洋泉社	2011.11
39	978-4-88303-221-1	佐藤 康邦	絵画空間の哲学～思想史の中の遠近法～	三元社	2008.2
40	978-4-7684-6784-8	黒田 竜之助	外国語の水曜日～学習法としての言語学入門～	現代書館	2000.7
41	978-4-89642-341-9	渡辺 淳	喜劇とは何か～モリエールとチュエーフに因んで～	未知谷	2011.5
42	978-4-416-21132-8	半田利弘	基礎からわかる天文学～太陽系から銀河、観測技術や宇宙論まで～	誠文堂新光社	2011.11
43	978-4-87502-288-6	メアリー・カラザース/別宮 貞徳	記憶術と書物～中世ヨーロッパの情報文化～	工作舎	1997.10
44	978-4-532-16812-4	杉山 正明	京都御所西一松町物語	日本経済新聞出版社	2011.11
45	978-4-7724-0916-2	原田 誠一	強迫性障害治療ハンドブック	金剛出版	2006.6
46	978-4-86194-016-3	横田 順彌	近代日本奇想小説史 (明治篇)	ピラール プレス	2011.1
47	978-4-7791-1142-6	柳家 権太楼/塚越 孝	権太楼の大落語論	彩流社	2006.3
48	978-4-86410-107-3	バット・センソン/田村 源二	見せびらかすイルカ、おもしろなアリ～動物たちの生殖行為と奇妙な生態についての69話～	飛鳥新社	2011.9
49	978-4-87502-438-5	加藤 碩一/青木 正博	賢治と鉱物～文系のための鉱物学入門～	工作舎	2011.7
50	978-4-08-771365-7	広瀬 和生	現代落語の基礎知識	集英社	2010.10
51	978-4-7885-0868-2	キャロリン・マーズ・ヴィン/吉見 俊哉/水越 伸/伊藤 昌亮	古いメディアが新しくなった時～19世紀末社会と電気テクノロジー～	新曜社	2003.8
52	978-4-490-10798-2	菊地 ひと美	江戸衣装図鑑	東京堂出版	2011.11
53	978-4-8406-9675-3	木越 治	講談と評弾～伝統話芸の比較研究～	八木書店	2010.3
54	978-4-8067-1366-1	伊藤 剛/高橋 秀介	鉱物コレクション入門	築地書館	2008.10
55	978-4-06-216426-9	ローレンス・D.ローゼンブラム/篠藤 慎子	最新脳科学でわかった五感の驚異	講談社	2011.2
56	978-4-7845-0377-3	クレール・プリセ/堀田 一陽	子どもを貪り食う世界	社会評論社	1998.11
57	978-4-06-216877-9	古今亭 志ん輔	師匠は針 弟子は糸	講談社	2011.4
58	978-4-309-26906-1	古今亭 志ん生	志ん生芸談	河出書房新社	2006.7
59	978-4-7812-0053-8	寺山 修司/山口 昌男/白石 征	寺山修司著作集(5) 文学・芸術・映画・演劇評論	クインテッセンス出版	2009.4
60	978-4-8052-0252-4	リチャード・モリス/荒井 喬	時間の矢(地人選書)	地人書館	1987.5
61	978-4-7503-2610-8	アン・スモーリン/ジョン・ガイナ/高橋 祥友/柳沢 圭子	自殺で遺された人々(サバイバー)のサポートガイド～苦しみを分かち合う癒やしの方法～	明石書店	2007.8
62	978-4-89434-828-8	E.トッド	自由貿易という幻想～リストとケインズから「保護貿易」を再考する～	藤原書店	2011.11
63	978-4-8057-6174-8	石崎 忠司/建部 正義/高橋 由明/梅原 秀雄/田中 広滋	失われた10年～バブル崩壊からの脱却と発展～(中央大学学術シンポジウム研究叢書)	中央大学出版部	2010.3
64	978-4-89628-728-8	水谷 英夫	実践労働相談入門～震災・労災・解雇・派遣・いじめ～	民事法研究会	2011.11
65	978-4-492-22283-6	橋本 俊昭	女性格差	東洋経済新報社	2008.6
66	978-4-575-30237-0	川柳 つくし	女落語家の「二つ目」休業	双葉社	2010.7
67	978-4-7905-0145-9	岸井 良衛	女藝者の時代 (青蛙選書 45) 新装版	青蛙房	2011.3
68	978-4-7942-0787-6	ダニエル・デネット/土屋 俊	心はどこにあるのか(サイエンス・マスターズ)	草思社	1997.11
69	978-4-15-209246-5	マリオリ・ヴィオ	神は数学者か?～万能な数学について～	早川書房	2011.10
70	978-4-89628-729-5	淀屋橋/山上 合同	震災の法律相談Q&A 第2版	民事法研究会	2011.10
71	978-4-88956-397-9	菅野 重樹	人が見た夢ロボットの来た道～ギリシャ神話からアトム、そして…～	JIPMソリューション	2011.10

No.	ISBN	著者	書名	出版社	出版年月
72	978-4-87502-128-5	稲垣足穂	人間人形時代～穴のあいたタルホ・ブック～	工作舎	1975.1
73	978-4-562-03114-6	豊島 泰国	図説日本呪術全書	原書房	1998.9
74	978-4-08-773475-1	スティーブン・ソロモン／矢野真千子	水が世界を支配する	集英社	2011.7
75	978-4-15-209142-0	スタニスラス・ドゥアンヌ／長谷川 真理子／小林 哲生	数算とは何か？～心が数を創り、操る仕組み～	早川書房	2010.7
76	978-4-88721-609-9	ジョン・バーネット／川口 弘一／平 啓介	世界 海の百科図鑑～生態系・環境から地形・資源・保全まで～	東洋書林	2004.9
77	978-4-585-05135-0	篠田 知和基／丸山 顕徳	世界の洪水神話～海に浮かぶ文明～	勉誠出版	2005.1
78	978-4-7601-0922-7	ア・サ・コッテレル／左近司祥子	世界神話辞典	柏書房	1993.9
79	978-4-535-05812-5	大島 俊之	性同一性障害と法(神戸学院大学法学研究叢書)	日本評論社	2002.6
80	978-4-7699-0825-8	原 恵	星座の神話～星座史と星名の意味～新装改訂版	恒星社厚生閣	1996.6
81	978-4-06-269280-9	丁 宗鉄	正座と日本人 (The New Fifties)	講談社	2009.4
82	978-4-532-35476-3	林 宏昭	税と格差社会～いま日本に必要な改革とは～	日本経済新聞出版社	2011.7
83	978-4-594-05615-5	立川 談春	赤めだか	扶桑社	2008.4
84	978-4-7948-0807-3	斎藤 譲一	創造を支える劇場技術者～舞台裏から感動を伝える～(シリーズ「アーツマネジメント」)	新評論	2009.6
85	978-4-314-01024-5	クリストフ・アンドレ／バトリック・レジュロン／高野 優／野田 嘉秀／田中 裕子	他人がこわい～あがり症・内気・社会恐怖の心理学～	恐伊国屋書店	2007.3
86	978-4-326-50289-9	渡辺 利夫／朝元 照雄	台湾経済入門	勁草書房	2007.6
87	978-4-7885-0362-5	ドナルド・A. ノーマン／野島久雄	誰のためのデザイン？～認知科学者のデザイン原論～(新曜社認知科学選書)	新曜社	1990.1
88	978-4-00-028503-2	内田 隆三	探偵小説の社会学	岩波書店	2011.11
89	978-4-06-217171-7	山本 作兵衛	炭鉱(ヤマ)に生きる～地の底の人生記録～新装版	講談社	2011.7
90	978-4-479-39162-3	山田 誠志／田島 謙之助	談志絶倒昭和落語家伝	大和書房	2007.9
91	978-4-560-08118-1	今尾 恵介	地図で読む戦争の時代～描かれた日本、描かれなかった日本～	白水社	2011.4
92	978-4-8222-4877-2	阿甘／徐 航明／永井 麻生子／生島 大嗣	中国モノマネ工場～世界ブランドを描きぶる「山寨革命」の衝撃～	日経BP社	2011.11
93	978-4-13-063701-5	吉井 謙	東京大学マグナム望遠鏡物語	東京大学出版会	2003.8
94	978-4-7911-0658-5	リン・E. デリシ／功刀 浩／堀弘明	統合失調症100のQ&A～苦しみを楽しめるために～	星和書店	2008.4
95	978-4-336-04346-7	前川 道介／竹内 節	独逸怪奇小説集成	国書刊行会	2001.8
96	978-4-582-23806-8	ロミ／高遠 弘美	突飛なるものの歴史 完全版	平凡社	2010.4
97	978-4-582-63458-7	コロナ・ブックス編集部	日本の音 (コロナ・ブックス 161)	平凡社	2011.7
98	978-4-409-24092-2	山田 葵治	日本の著作権はなぜこんなに厳しいのか	人文書院	2011.9
99	978-4-276-13312-9	小泉 文夫	日本伝統音楽の研究～合本～	音楽之友社	2009.6
100	978-4-14-081463-5	NHK取材班	日本人はなぜ戦争へと向かったのか(上) (NHKスペシャル)	NHK出版	2011.2
101	978-4-14-081464-2	NHK取材班	日本人はなぜ戦争へと向かったのか(下) (NHKスペシャル)	NHK出版	2011.6
102	978-4-14-081511-3	NHK取材班	日本人はなぜ戦争へと向かったのか(戦中編) (NHKスペシャル)	NHK出版	2011.11
103	978-4-624-70090-4	コンスタンチン・スタニスラフスキー／岩田 貴／堀江 新二／浦 雅春／安達 紀子	俳優の仕事～俳優教育システム～(第1部)	未来社	2008.6
104	978-4-624-70091-1	コンスタンチン・スタニスラフスキー／堀江 新二／岩田 貴／安達 紀子	俳優の仕事～俳優教育システム～(第2部)	未来社	2008.10
105	978-4-624-70093-5	コンスタンチン・スタニスラフスキー／堀江 新二／岩田 貴／安達 紀子	俳優の仕事(第3部) 俳優の役に対する仕事	未来社	2009.7
106	978-4-901174-23-7	入船亭 扇橋／長井 好弘	斬家渡世～扇橋百景～	うなぎ書房	2007.7

No.	ISBN	著編者	書名	出版社	出版年月
107	978-4-314-01004-7	アルフレッド・W.クロスビー／小沢 千重子	飛び道具の人類史～火を投げるサルが宇宙を飛ぶまで～	紀伊国屋書店	2006.5
108	978-4-87798-207-2	日本放送労働組合	表現者の自由～映像の力と責任をめぐる対話～	現代人文社	2004.7
109	978-4-947575-31-9	加藤 正信	舞台監督の仕事～舞台づくりの基本から仕掛けのテクニックまで～(舞台技術入門シリーズ 2)	レクラム社	1999.5
110	978-4-08-781329-6	緒方 貞子	紛争と難民 緒方貞子の回想	集英社	2006.3
111	978-4-416-60853-1	杉浦 康平	文字の美・文字の力	誠文堂新光社	2008.12
112	978-4-7503-3482-0	中川 保雄	放射線被曝の歴史～アメリカ原爆開発から福島原発事故まで～ 増補	明石書店	2011.10
113	978-4-86064-216-7	江藤 邦彦	法隆寺にひそむ白銀比五稜郭にひそむ黄金比～旅先で出会う数字のはなし～	ベレ出版	2009.1
114	978-4-7699-1085-5	クリストファー・ウォーカー／山本 啓二／川和田 晶子	望遠鏡以前の天文学～古代からケプラーまで～	恒星社厚生閣	2008.11
115	978-4-7958-4412-4	西川 浩幸	僕はいつでもここにあります。	情報センター出版局	2005.9
116	978-4-535-51528-4	金井高志	民法でみる知的財産法	日本評論社	2008.4
117	978-4-15-208630-3	トリイ・ヘイデン／入江 真佐子	霧のなかの子～行き場を失った子どもたちの物語～	早川書房	2005.4
118	978-4-404-04102-9	片野 勲	明治お雇い外国人とその弟子たち～日本の近代化を支えた25人のプロフェッショナル～	新人物往来社	2011.11
119	978-4-8124-3909-8	嶋崎 秀樹	儲かる農業～「ど素人集団」の農業革命～	竹書房	2009.7
120	978-4-88721-719-5	馬場 恵二	癒しの民間信仰～ギリシアの古代と現代～	東洋書林	2006.8
121	978-4-00-002426-6	矢野 誠一	落語のこと少し	岩波書店	2009.12
122	978-4-10-603681-1	立川 志らく	落語進化論	新潮社	2011.6
123	978-4-340-10006-4	立川 志らく	立川流鎖国論	梧桐書院	2010.11
124	978-4-87672-069-9	吉福 伸逸／松岡 正剛／見田 宗介／中沢 新一	流体感覚	雲母書房	1999.4
125	978-4-89694-856-1	安田 喜憲／荒川 紘	龍の文明史	八坂書房	2006.2
126	978-4-16-374640-1	半藤 一利	聯合艦隊司令長官山本五十六	文藝春秋	2011.11